

あすりーと高岡

第18号



陸上競技

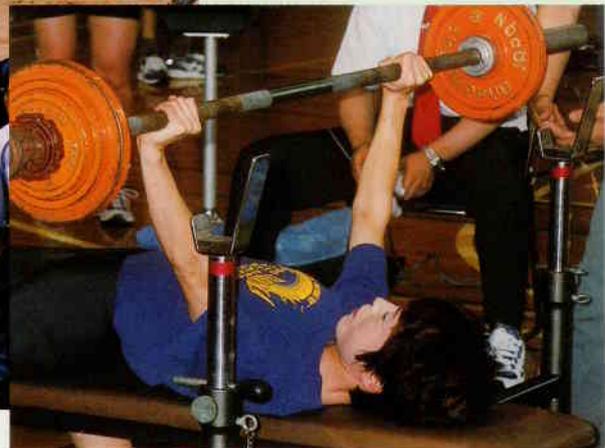


第54回高岡市民総合体育大会 総合開会式
ビーチボール競技 橋本明美選手の宣誓

ソフトボール競技



パワーリフティング競技



平成13年度評議員会 体育功労者表彰式

平成13年5月19日(土)
於 高岡商工ビル



谷道副会長開会の挨拶、氷見高岡市民スポーツ振興事業団事務局長の祝辞に続いて体育功労者の表彰式が行われた。

表彰状の受賞者

- ・森田 貞樹(サッカー協会)
- ・橋本 峰雄(銃剣道連盟)
- ・道振 義治(サッカー協会)
- ・今井 紀夫 大山 宏司
- ・今泉 勉 河合 昭博
- (バドミントン協会)
- ・磯崎 祐子 新潟優香里
- ・伊東 宏(柔道連盟)
- ・林 正隆 日下 秀峰
- ・堀田 敦嗣 小川 修平
- ・酒匂 博臣 橘 正規
- (バスケットボール協会)
- ・西島 隆 久保 雅紀
- ・角地山 豊(レスリング協会)
- ・坂田 芳寛 大石 隆文
- ・清水 國重(水泳協会)
- ・布目 光勇(弓道連盟)
- ・渡辺 誠(銃剣道連盟)
- ・滝田 悟(パワーリフティング協会)
- ・宮崎 恒(ハンドボール協会)
- ・吉本 貞夫 田中 誠治

感謝状の受賞者

- (ソフトテニス連盟)
- ・トナミ運輸(株)バドミントン部
- ・立山アルミニウム工業(株)女子ハンドボール部
- ・塩谷建設(株)女子柔道部
- ・タカギセイコーフェアリーズ
- ・高岡ビックウエーブ
- ・井端 文男(野球協会)
- ・正田 昭夫(剣道連盟)
- ・惣元 宗男(卓球協会)
- ・中川 義博(柔道連盟)
- ・麻生 幸雄(レスリング協会)
- ・林 喜久治(陸上競技協会)
- ・野村 清和(バレーボール協会)
- ・八塚 一正(パワーリフティング協会)
- ひきつづいて評議員会の議事に入り議長に橘規矩雄氏を選任し議題に沿って次の事柄を承認・可決した。
- 一、平成12年度事業及び収支決算報告について
- 二、役員の変更について
- 新理事 中村 彰(高体連 大門高校)
- 〃 大道真琴(中体連 芳野中学校)
- 三、平成13年度事業計画及び収支予算について
- 四、賛助会員について

平成13年度 競技団体役員変更

- ・水泳協会 会長 小馬 保
- ・野球協会 理事長 東野 隆夫
- ・バレーボール協会 会長 八箇 雅男
- ・サッカー協会 理事長 飯田 融
- ・相撲連盟 理事長 中尾 治
- ・銃剣道連盟 会長 高嶋 義尋
- ・アーチェリー協会 会長 藤本 勝己

- ・ゲートボール協会 理事長 林 信正
- ・ゴルフ連盟 理事長 三角 武重
- ・高岡市中体連 会長 橘 規矩雄
- 〃 理事長 大道 真琴
- ・高岡地区高体連理事長 浦上 樹

第47回前田杯 ソフトテニス大会(中学の部)

- 男子の部
- 優勝 北 伸吾・小田真也(芝原中)
 - 次勝 定舎圭祥・河村和樹(〃)
 - 3位 矢部秀明・山崎寛純(芳野中)
 - 3位 末田崇之・中林啓太(犀生中)
- 女子の部
- 優勝 鈴木杏菜・木村千恵(芳野中)
 - 次勝 松野 恵・福田真紀子(〃)
 - 3位 小川由香里・藤井美里(南星中)
 - 3位 片岡明日香・瀬川春香(森本中)



第47回前田杯 バレーボール大会(中学の部)

- 男子の部
- 優勝 野田中学校 3位 志貴野中学校
 - 次勝 額中学校 3位 芳野中学校

- 女子の部
- 優勝 芳野中学校 3位 野田中学校
 - 次勝 志貴野中学校 3位 戸出中学校



お知らせ(事務局より)

川瀨義弘(専務理事) 病氣療養中のところ、7月10日早朝、逝去されました。謹んで哀悼の誠を捧げます。

なお、事務局長については、3月31日付の横山 勲事務局長の人事異動に伴い、6月18日付にて新事務局長として、佐野徹郎氏に着任していただきました。

佐野氏は、高岡工芸、伏木、高岡南高校等で教鞭をとり、その間陸上部の指導や高体連の陸上委員長を務められました。

また、都合により、体協から発送しております会長名文書等は、谷道会長代行として発送しますのでお知らせいたします。

第十二回世界バドミントン選手権 について

五月二十八日から、バドミントン世界選手権の男女混合団体戦（スデイルマン杯）がスペイン・セビリヤで開幕した。上位の一部は中国、韓国、スウェーデン、デンマーク、インドネシア、イギリスの計6ヶ国である。この大会二年前の日本は十位であり、今回、一部入りを目指し男女ダブルス2組、男女シングルス2名、混合ダブルス1組の計5組で争われた。二部A組（四ヶ国）の日本には、舛田圭太、大東忠司（トナミ運輸）、元三協アルミの山本静香（ヨネックス）、山田青子（山洋電機）が出場した。

初戦のドイツ戦には、男子ダブルスの舛田・大東組、女子ダブルスの山本・山田組がストレート勝ちするなどし、ドイツ戦は、4-1で、二試合目のウクライナ戦も、4-1で快勝した。三戦目の強豪マレーシアに、日本は2-2で迎えた男子ダブルスで、舛田・大東組が世界ランキング五位でシドニー五輪四位のチューン・リー組を15-7、15-8のストレートで下し、3-2で競り勝った。

その結果日本は、3戦全勝で、二部A組一位となり、B組一位のタイと二部一位決定戦（総合七位・八位）を戦った。しかし、1-3で敗れ総合八位となり、念願の一部入りはならなかった。個人戦は六月三日から始まり、男子

ダブルスで、舛田・大東組は2回戦でデンマーク組に敗れ、女子ダブルス山本・山田組は中国組に敗れベスト8入りはならなかった。



東アジア大会で小峯(ソフトテニス)・浅井(バドミントン)両選手大活躍

東アジア大会は、五月十九日から、大阪市を中心に行われた。ソフトテニスの小峯秋二選手（高岡ビックウエーブ）は、団体戦のシングルスに出場し、中国戦では、4-2で逆転勝ちし、台湾戦では、4-3、韓国戦では、昨年のアジア大会個人シングルの覇者に4-3で競り勝ち、モンゴル戦は4-0でストレート勝ちし4戦全勝した。

結果、日本は、中国に3-0、台湾に3-2、強豪韓国を3-1、モンゴルを3-0で下し4戦全勝で初優勝を飾り、その優勝に大いに貢献した。

男子個人シングルスでは、準決勝で韓国選手に2-4で敗れたが、三位決定戦で、中堀（NTT西日本中国）を4-2で下し、三位となった。

また、ハンドボールのGK浅井友可里選手（立山アルミ）は、台湾戦に先発出場するなどし、日本は、台湾を24-18、中国を21-17、豪州を33-12、カザフスタン戦は25-25で引き分け、韓国に24-28で負け、通算三勝一分一敗で二位となり、守りのかなめとして勝利に貢献し、活躍した。

ホープ紹介

全国大会入賞を目指して

高岡市立牧野中学校 二年 藤賀 晃
高岡市立南星中学校 水 泳 部



藤賀 晃

卓球が大好きで、毎日楽しそうにボールを追いかけている。明るく、素直で前向きの彼は吸収が

はやい。また、研究熱心で、毎日の卓球ノートは欠かさず書き、積み重ねを大切に、努力するがんばり屋でもある。昨年は、中部日本卓球選手権大会のカデットの部でシングルスベスト16、全日本卓球選手権大会の13オシングル

共に一〇〇M自由形の自己ベストが一分〇二秒台である。この両選手で二分〇五秒でまとめ、残り二選手が二分十四秒を切ることであれば、全国大会へ出場となる。

その残り二選手の候補として、二年生江尻愛優美、一年生晒谷伊紀子、島幸子、板林円香の四名がいる。共に一〇〇M自由形の自己ベストが一分〇七秒前後である。



南星中学校水泳部

南星中学校水泳部は、男子十一名、女子七名で活動している。特に女子は、高岡地区大会七連覇、北信越大会十一年連続出場という成績を収めてきた。

た。しかし、残念ながら全国大会への出場を長年果たすことはできなかった。本年、女子四〇〇Mリレーにおいて全国大会出場という夢を達成するチャンスが出てきた。

今年の全国中学校選抜大会の四〇〇Mリレー出場標準タイムは、四分十九秒〇。

三年生の湯浅瞳と若林初美の両選手は、

現在、学校での練習、各自所属スイミングクラブでの練習、協会主催の合同練習会をそれぞれこなし、泳力を高めており、大会ごとに自己記録を更新する伸び盛りの選手もいる。

全国大会の予選会である県中学校選手権に向けてみんなの力を結集し、長年の夢を達成させて欲しい。

南星中学校水泳部顧問 藤森 裕

平成13年度

ジュニア選手育成強化事業の紹介

～とやま国体の後に～

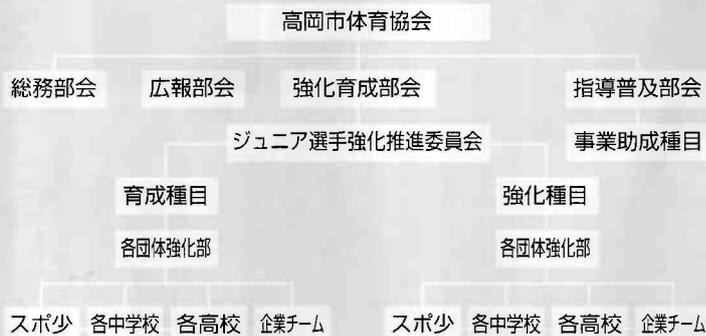
ジュニア選手強化推進委員会の設置

高岡市体育協会は、二〇〇〇年とやま国体までの育成強化の取組を財産として、更なる高岡市スポーツの発展を目指し、小学生から高校生にかけての一貫したジュニア選手の育成強化に取り組む方針を打ち出しました。

それに伴い、本協会内に「ジュニア選手強化推進委員会」が設置され、平成13年度ジュニア選手育成強化事業対象種目より左記の委員が委嘱された。

- | | |
|------|-----------------|
| 委員長 | 西本 幸夫 (バドミントン) |
| 副委員長 | 松尾 陽一 (ソフトテニス) |
| 委員 | 吉岡 忍 (バドミントン) |
| | 馬場 直志 (ソフトテニス) |
| | 炭谷 久夫 (サッカー) |
| | 澁谷 龍宏 () |
| | 津田 久 (バスケットボール) |
| | 石田 康男 () |
| | 藤森 裕 (水泳) |
| | 関 清嗣 () |
| | 田川 良潤 (バレーボール) |
| | 坂本 雅則 () |
| | 近藤 智久 (陸上) |
| | 川淵 憲弘 () |
| | 畑下 栄志 (ハンドボール) |
| | 星野 正行 () |
| | 見津 栄吉 (フェンシング) |
| | 上野 英光 () |
| | 堤 博昭 (柔道) |
| | 内河 健二 () |

ジュニア選手強化事業 系統図



委員 加藤 正和 (レスリング)
角地山 豊 ()

第一回委員会では、五年程度の中期的な目標を建て事業を実施していくことや事業計画について話し合われた。また、九月に予定されている第二回委員会では、各種目で実施した事業に伴う問題点や今後の課題について話し合い、ジュニア選手育成強化体制の整備にむけてのノウハウを蓄積し、各事業内容の改善や実施種目の拡大を目指すこととなった。

いっしょに走ろうよ!

高岡市ジュニア陸上競技教室
高岡市陸上競技協会



高岡市陸上競技協会では、今年五月から高岡市ジュニア陸上競技教室を開催しています。走ることの喜び、スポーツすることの楽しさやすばらしさを一人でも多くの子どもたちに味わってもらうことがこの教室のねらいです。

練習会は、毎月第二・第四土曜日の午前中、高岡市宮城光寺陸上競技場で行っています。川淵憲弘(高岡市民スポーツ振興事業団スポーツ専門員)を主任コーチとし、市陸上競技協会強化スタッフが指導にあたっています。六月末日現在の登録会員は、小学一年生から中学三年生までの計百八十名で毎回、百名以上が練習会に参加しています。

五月二十六日の練習会には、特別コーチとして、井口文雄氏（富山県総合体育センタースポーツ専門員）二〇〇〇年とやま国体陸上競技短距離走で活躍した、水谷敦子選手をお招きしました。ミニハードルやトレーニングラダーを利用した、ランニングの基礎作りの指導をうけました。今後は、短距離走や跳躍種目、投てき種目などの記録会も予定しています。

入会金は無料。随時、高岡市営城光寺陸上競技場で受け付けています。一人でもたくさんの参加をお待ちしています。

**高岡市ジュニア陸上競技教室
練習会の予定**

7月	8月	9月	10月	11月
7日(土) 14:00~16:00	11日(土) 9:00~11:00	22日(土) 9:00~11:00	27日(土) 9:00~11:00	24日(土) 9:00~11:00
21日(土) 9:00~11:00	8日(土) 9:00~11:00	9日(土) 9:00~11:00	3日(土) 9:00~11:00	9日(土) 9:00~11:00

※雨天の場合は中止となります。

【問い合わせ先】

高岡市営城光寺陸上競技場

此川・川渕まで

TEL 0766 (44) 6785



フエンシング

コーチ招聘強化練習会

平成13年度ジュニア選手育成強化事業として、高岡市フエンシング協会が元五輪選手で日本トップレベルの指導力をもつ岡 智子氏（中央大学講師、日本体育大学フエンシングコーチ）の招聘を年間3回計画した。

その第2回目が6月23日から24日にかけて高岡市万葉社会福祉センターで行われた。協会が主催するジュニアフエンシング教室の終了者を中心に小学生から高校生の選手12人と指導者5人が参加した。

練習会の内容としては、ウォーミングアップの後、瞬発力を養成するためのシャトルラン、フエンシングの基本姿勢を矯正するドリルや基本技術の練習が行われた。

その後、中高生は岡コーチの個別レッスンで攻撃パターンを組み立てる練習をし、引き続き有効打を機械的に判定する電気判定機を使用しての実戦練習を行った。

参加した指導者らは、岡コーチの指導をビデオ撮影するなど熱心に指導力の向上に取り組んだ。

岡コーチにお話をうかがうと、高岡のジュニアフエンシングについては、「富山県は、ジュニア選手養成には定評があります。高岡では父兄による指導が盛んで、電気判定機も所有するなど良い環境です。あとは対外試合などで実践経験を積んでほしい」、また今回の招聘事業に関しては「まだ2回目なので、選手たちが照れているので、早く慣れもつと積極性を出してほしい。招聘された者としては、基本の重要性を徹底し、徐々に厳しく指導したい」と頼もしいお話が聞きました。



今回、紹介した事業の他にも柔道練習会やジュニアレスリング教室など小学生を対象にした事業が行われています。また、競技力向上を目的として、小学生から高校生にかけて、強化練習会や強化遠征が行われています。これらの取り組みが、年代を越え、種目を越え、実際にスポーツを楽しむ子供たちに有効に作用するように、今後もジュニア選手強化推進委員会で事業計画をしていきますので、ご意見等ありましたら体育協会事務局までお願いします。



スポーツドクター・アドバイス

高岡市民病院 第3医療局長

整形外科 山田 均

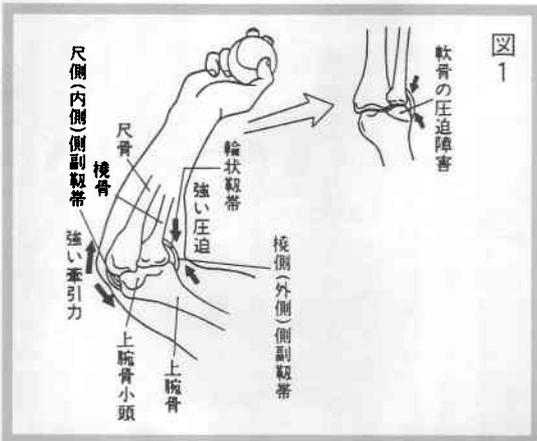
肘の スポーツ障害に ついて

野球肘、テニス肘など肘には耳慣れたスポーツ障害が多くみられます。下半身に比べ、上半身は筋力が弱いいため、関節への繰り返し負荷により、肩や肘を痛める可能性が高いと言われています。症状としては関節の軟骨を痛めたり、関節周辺の筋、腱に炎症が生じたり、これらの二次的結果として神経を障害し、手に入らなくなったり、しびれを生じるなど多彩です。関節の運動が制限されるほど重症化した場合には、しばしば手術治療が必要になることもあります。しかし、残念なことに手術治療しても完治できない場合もあります。以下代表的な障害についてその病態を紹介いたします。

① 野球肘

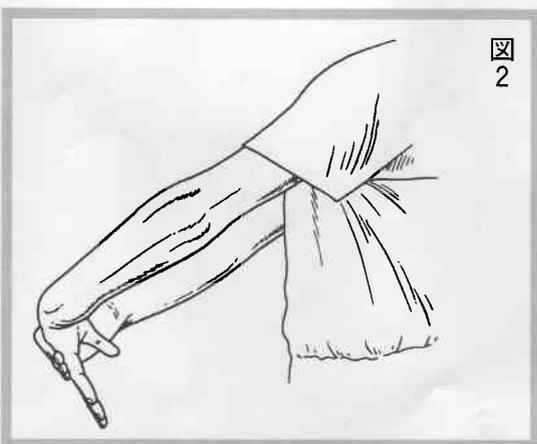
ボールを投げる動作は下肢、腰、肩、肘、手首の一連の連続した運動として行われるのが理想です。しかし、低学年の選手や初心者においては下肢、腰を十分使えず、いわゆる手投げになってしまう傾向があります。この状態で長時間の練習を行うと、肩、肘にかなりの負担がかかってきます。ボールを投げる際に肘は屈曲しますが、その際は親指側（外側）の関節表面の軟骨は繰り返し圧迫をうけることとなります。逆に小指側（内側）においては関節軟骨は圧迫されず、むしろ支えている靭帯にひっぱられる力が働きます（図1）。発育期においては、関節の軟骨が成人より厚いため、こうした繰り返しの負荷により、外側の軟骨が傷ついたり、剥がれたりし、内側においては靭帯が少しずつ伸びてしまうような障害が発生します。早い時期に対処すれば問題

はありませんが、痛みをこらえて投げ続けると、後遺症として残ってしまい、将来のスポーツ活動にまで影響を及ぼしてしまいます。痛みが出たら無理をせず、早期に専門医へ受診することを薦めます。



② テニス肘

テニスのバックハンドストロークでは手首が折れないようにグリップをしっかりとさせます。この力を生み出しているのが手指を伸展したり、手首を手の甲の側に動かす筋肉です。これらの筋肉は肘の外側の同じ所についているため、練習量が多かったりするとバックハンドストロークの衝撃がこの部位に集中し、徐々に疲労が蓄積し、炎症を起こしてきます。重症の場合は、はしも持てなくなります。日頃からストレッチ（図2）をして予防に努めましょう。



◎加盟団体紹介(29)

高岡市セーリング協会
(旧 高岡市ヨット協会)

高岡市セーリング協会は、平成元年12月、平成の時代の幕開けと共に設立されました。設立当初の名称は高岡市ヨット協会です。親会の日本ヨット連盟が名称をセーリング連盟と変えたのに伴い当協会も名称変更し、今日ではヨットのみならずウィンドサーフィン等海に親しむ人達に幅広く加入していただいております。

そもそも設立の発端は個人的にヨットを楽しんでいた人達が、毎週末浜辺で顔見知りになり、交流を重ねるうちにごく自然発生的に仲間が形成され、行政にマリンスポーツを認知してもら

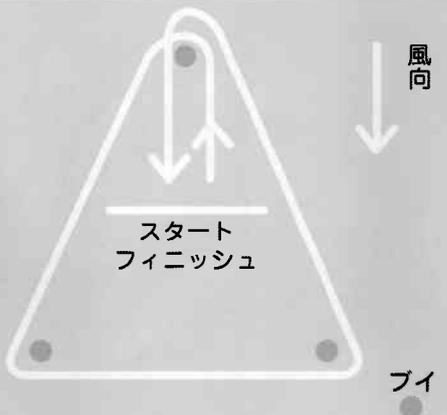


う目的で会を設立し今日に至ったものです。

ヨットやウィンドサーフィンは個人競技であり、車の屋根に載せて移動が簡単です。グラウンドは広い海ですからいつでも好きな時に気ままに楽しむことができます。当協会は個人が自由に趣味としてスポーツを楽しむことを基本としています。天気や風の具合で海に出たり出なかつたり、浜へ行けば誰かに会える。会えば持参したビールを傾け、つまみはみんな分けて合う。そういう気ままな週末を楽しめるのもセーリングという共通の趣味があるからです。

- 1 定期レース
 - ・ オープンレガッタ……………5月
 - ・ 高岡市体育祭……………7月
 - ・ 万葉レガッタ……………9月
 - ・ レクリエーション
 - ・ お花見……………4月
 - ・ 酔ッティング……………12月
- 2

高校総体・国体が本県で開催されたのをきっかけとして競技スポーツとしてヨットが大いにさかんとなりました。当協会のメンバーもボランティアとして積極的に運営に参加しました。またジュニアの育成に努め、選手強化として外国人コーチの指導は大変効果があり、そのかいあってか昨年の富山国体では女子少年ヨットの部で、地元高岡高校の加賀谷菜美子さんが見事優勝されたことは歴史に残る快挙です。



○ヨット競技図
広い海にはラインは引けません。風上・風下によってラインの代わりにブイを浮かべてそれを標式にして操船のワザや風の読み方を競い合います。

平成13年度
財)高岡市体育協会賛助会員
趣意について

日頃から本市のスポーツ普及振興と競技力向上に、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、昨年開催されました「二〇〇〇年とやま国体」は富山県が総合優勝というすばらしい成績を残し、県民にさわやかな感動と夢を与え成功裡に終了しました。

本協会としましては、今後はこの国体での成果を基に、市民のスポーツに対する期待と要望に応えるためにも、財源を確保し、将来を担う小・中・高校生の育成に特に重点をおいた、施策を積極的に展開してまいる所存であります。

つきましては、このジュニア層の育成事業等の推進を図るために、格別のご理解をいただき、賛助会員としてのご加入をお願い申し上げます。

なにとぞこの趣意にご賛同いただき、当協会の事業発展、スポーツ振興のために、何分のご援助、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、すでに平成13年度賛助会費を納入していただきました会員の皆様には、厚くお礼申し上げます。

賛助会員年会費
法人・個人二〇一〇、〇〇〇円

スポーツ
人脈

サッカーにかけた情熱

高岡市サッカー協会 吉崎克文氏



ここ十年の間にサッカーを取り巻く環境は大きく変わってきている。日本においてもJリーグが発足し、ワールドカップにもはじめて出場。来年には韓国と共催でそのワールドカップを開催する。富山県においても高校総体、国民体育大会と大きなイベントを開催し、国体においてはサッカー競技で総合優勝を果たすまでになった。このような大きなうねりの中で吉崎克文氏は高岡市サッカー協会の会長として市内のみならず県内においてサッカー界の舵取り的な存在である。

吉崎氏がサッカーに関わられるようになった背景には、多分に御尊父の亮氏の存在があると思われる。高岡市サッカー協会の初代会長であった亮氏は、自ら高岡工芸高校の指導に情熱を傾けられ、全国高等学校サッカー選手権ベスト8、国体出場等のチームを育てられた。その当時は今のように指導システムも確立されておらず、聞くところによるとドイツから指導書を取り寄せ、それを自ら翻訳され、指導に生かされており、その研究熱心さと新しい流れを取り入れようとする意欲は、まさに息子の克文氏に受け継がれたものである。

克文氏は昭和三十五年、富山大学附属中学校ではじめてサッカー部に籍をおかれ、その後富山中中部高校、順天堂大学医学部を通してミッドフィールダーとして活躍された。ちょうど工芸高校を指導されていた父の姿を見て、ある意味ではそれに負けまいと自ら切磋琢磨され自分なりのサッカー観を築かれたに違いない。その反骨精神と新しいものを取り入れる意欲、研究熱心さが高岡市サッカー協会のバックボーンとなっている。

昭和六十三年、吉崎氏が会長に就任され、同時に就任した谷内浩仁前理事長とともに今まで多くの功績を残してこられた。会長就任当時、協会では芝のサッカー場を持つことは大きな夢であった。何度も

市当局へ請願を繰り返され、高校総体のサッカー競技を開催することを機に高岡スポーツコアが整備された。また協会組織にも新しい風が流れるように若手指導者の声を積極的に取り入れたり、小学生や女子チームの練習の場にも積極的に足を運ばれ、自ら指導にあたる傍らグラウンドでの生の声を聞こうと努力された。その結果当市における少年や女子の競技レベルは急速にあがってきている。

平成八年に高岡市では友好都市のドイツブレメン市よりプロのコーチを招聘し一ヶ月各チームへ巡回指導を行った。そのときにコーチの指導を一番熱心に聞いていたのは吉崎氏だった。指導の場を離れても積極的に話しかけ、外国人コーチにやや臆するところが見られる他の指導者を尻目に、新しいことはどんなことでも聞いていこうとする意欲には頭が下がる思いがした。

また、整形外科医ということで、例えば、テーピングやストレッチの実技指導などで傷害の予防や治療のための正しい知識を各チームに広めるなど、医学の知識をどんどん指導に取り入れられた。このように吉崎氏は、高岡はもとより富山県のサッカー界に有益なことであれば、どんなことでも積極的に取り入れ行動されてきた。そして、自らもサッカーフェスティバルでは実際にプレーを楽しまれ、Jリーグが県内で開催されると、医事活動に従事される一方、試合観戦に興じられている姿をみると、サッカーが好きであるからいろいろなおことに情熱を持って取り組まれることに納得させられる。吉崎氏は平成八年度に高岡市教育功労賞を受賞された。これは氏のサッカーにかけた情熱がもたらした賞であり、日頃の活動が認められたものである。これからもサッカーを取り巻く環境は変わりゆくかもしれない。たとえどのようなうねりがきても適切に舵をとり我々を導いていっていただけると信じてやまない。

高岡市サッカー協会 飯田 融

平成13年度 今後の主な行事

- 8月7日～8日 北信越中学校総合競技大会(パドミントン・ソフトテニス・サッカー・水泳 高岡市開催)
- 8月10日 全中大会出場選手壮行会
- 8月24日～26日(中心会期)富山市ほか第22回北信越国民体育大会
- 9月8日～11日 みやぎ国体夏季大会
- 9月24日 第47回前田杯バレーボール大会(一般の部)
- 10月13日～18日 みやぎ国体秋季大会
- 10月28日 第47回前田杯ソフトテニス大会(一般の部)
- 10月28日 高岡市中学校運動部リーダー養成研修会
- 11月 第10回スポーツ医科学シンポジウム
- 11月23日 富山県駅伝競走大会
- 12月1日 理事会
- 12月1日～2日 役員研修会・体育功労者表彰(小・中・高校生)
- 1月3日～4日 新春武道稽古始め

編集後記

昨年開催されたとやま国体は、大成功でした。体協では、この成果を基に将来の本市スポーツ界を担っていく優秀選手の育成を目的し、本年度よりジュニア選手強化推進委員会を立ち上げ、事業の充実を図ることといたしました。

また、諸事業を推進するには財源の確保が必要です。本協会の賛助会員として皆様方のご支援をいただきますようお願い申し上げます。